広報えどがわ

No. 401　昭和54年9月20日　江戸川区広報室編集・発行

**秋の全国交通安全運動**
**―9月21日～30日―**

江戸川区役所（中央1―4―1）
〒132 電話（652）1151（大代表）
（事務所の電話は4面に掲載）

# ひろげようふれあいの輪を

「ひろげようふれあいの輪を」が合言葉、区民まつりは区民のみなさん総出の手づくりまつりです。

昨年は20万人余のみなさんが楽しい一日をすごしました。今回は第2回目、ますます広がって行く協調と連帯の輪のように数々の趣向を凝らして開催します。

10時の開場から午後8時まで、篠崎公園は区民のみなさんの別天地です。さわやかな青空の下、あなたも参加して〝すばらしい秋〟を味わってみませんか。

## 10月10日（祝）篠崎公園
## 第2回 区民まつり

楽しさ手づくり……
休日ゆっくり……

まつり囃子が聞こえる――当日会場は楽しい催しが盛りだくさん。紹介しましょう。

**盛りあがる まつりの秋**

▽花自動車の区内パレード＝オープンカーを中心に20台の花自動車が区内の主な道路を巡ります。華やかな行進は、まつりへのお誘い……。（コース・時間は次号で紹介）

▽ガラクタみこし＝ワッショイワッショイと、勇ましいかけ声がまつり会場にこだまします。

**歌う・踊る 芸能の秋**

▽芸能広場＝郷土芸能、青年・成人の音楽祭、日舞や民謡など（第1ステージ）。子どもからお年よりまで参加できるカラオケのど自慢（第2ステージ）がにぎやかに……。

▽おどり広場＝古川・五分一・南篠崎音頭など地域になじみの踊りから全国の盆踊りまで、サァサみんなで輪になって……。

**見る・味わう 味覚の秋**

▽縁日広場＝ワタアメ・オデンなどの模擬店がずらりと並び、植木市や金魚すくい・射的など。家族そろってのんびりと……。

▽出展広場＝趣味の作品展から伝統工芸・区の今昔写真展、穂高町観光物産展など。じっくりと文化の秋の味わいも……。

**駆ける・跳ぶ スポーツの秋**

▽動物広場＝ポニーの背にゆられ、子ブタなど小動物と仲よくならんで写真をパチリ……。

▽スポーツ広場＝体力測定やゲートボールコーナー、スピードガンであなたの速球測定も……。

**仲間に入る ふれあいの秋**

▽ミニSL＝1/6の本物、小学生以下が乗れます。

▽エアートランポリン＝2頭のネッシーがお子さんと……。

▽青空のもと、囲碁・将棋・オセロ・ケン玉・ゴーカートなど仲間に入って遊びましょう。

**区民まつりお知らせ版**

楽しいまつりはみなさんと共に――10月初めまでに町会自治会を通して配布します。ご覧ください。なお**雨天の場合は中止**になります。

まつり事務局・コミュニティ係　内線345・346

# 南

## 待望の西葛西駅開設
### 東西線　10月1日から区内2駅に

来月1日、葛西地区に待望久しかった「西葛西駅」がオープンします。

同地区の人口は、地域の発展とともに増え続け、とうに10万人を超えました。そして、現在葛西駅の利用者は1日6万9千人を数え、既に飽和状態です。

このような状況は土地区画整理事業を始めた時から予測され、中里区長をはじめ、区議会代表、地元区画整理組合の代表は、葛西地区には2駅が必要と早くから新駅設置運動を展開し、昭和49年8月には「新駅開設促進協議会」を発足させ、以来精力的に交通営団に働きかけてきたものです。東西線開通から10年余、今回ようやく実現をみることになりました。

開設当日までには、この西葛西駅の南側と北側にそれぞれ約2千500㎡と2千400㎡の立派な駅前広場が完成します。この用地は、地元の小島土地区画整理組合が事業の中で生み出したものです。南口広場には高さ10mのクスノキがそびえ、名づけて「クスノキ広場」。また南北広場には樹木49本、株もの802株、リュウヒゲ4千400株が植えられる他、高さ15mの照明灯が夜の広場に輝きます。さらにこの両広場の歩道にはカラー平板を敷き詰めます。これらの広場造成費約1億1千万円は区の負担。

駅開設と同時に駅乗り入れバス葛西20系統（葛西駅・西葛西駅・なぎさニュータウン）と新小21系統（西葛西駅・新小岩駅）の2路線もスタートします。

このように葛西地区の核として新駅が活動するのも間近。立派に完成した駅前広場をきれいに利用するため、ここへの自転車の置き放しは絶対になくしたいものです。

# 北

## 小岩駅周辺の自転車公害
## 10月1日から

国電小岩駅周辺はまさに〝自転車公害〟。南北の広場に、周辺の歩道や車道に放置自転車があふれ、たびたびの指導や撤去にもかかわらず、いっこうに跡を絶ちません。こうした状態は単に街の美観を損ねるだけでなく、歩行者や車の交通の妨げとなり、事故にもつながりかねません。また、いざというときの救急活動にも支障をきたします。

そこで、10月1日から〝放置自転車追放運動〟を強力に展開することになりました。これは環境浄化推進小岩地区協議会を中心に、区、小岩警察署、同消防署、交通安全協会、各町会・自治会、商店会、婦人会、子供会などが力を合わせて行います。

その方法は、まず「自転車は、自転車パークに入れましょう」と呼びかけるとともに、放置してあるものがあればすぐさま撤去し、他の場所へ山積みします。さらに、駅周辺に集まる自転車利用者の三分の一が1㎞圏内ということから「近くの方は、健康と美容のために歩きましょう」との呼びかけもします。

高架下に区が設けた自転車パークは4か所、一番遠いところでも駅まで徒歩5分です。今月中には、2号パークの立体化工事が終わり、全所で4千台を収容することができます。

通勤や通学に利用される方はもとより、買い物に利用される方も、自転車は、必ず自転車パークに入れましょう。

環境防災課計画係　内線303